



# 草の根

第42回

No. 17

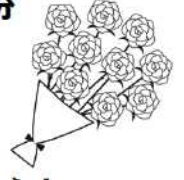
新日本婦人の会 浜松支部  
〒430-0907  
浜松市中区上島3-33-6  
TEL&fax 464-9881

**声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、ジェンダー平等と持続可能な世界を創立60年へ新婦人大きく**

**第30回全国大会日程決定！！ 2020年1月23日(日) 13時～16時25分**  
～オンラインでの開催～

**10月は新婦人の誕生月で～す**

新婦人創立59年仲間づくりピックデーは11月19日に延期しますが  
毎日が仲間づくりデーです。今月の目標、各班会員1人と読者2部を取り組みましょう！



## 私の仲間ふやしチャレンジ

日頃からどんな思いで、どんな行動をしているのか機関紙部員の鈴木美智子さんに聞きました。

私のしんぶん拡大の方法は二つあります。

一つ目の方法は、しんぶんを勧めたい人から始め決めて、アタックする方法。自分の周りを見渡すと会員でない人、読者でない人がまだまだいます。その人は何に関心あるのか。何に興味があるのかをまず知り、関心や興味のある記事を示してしんぶんを勧めます。会うことがわかってる時はそのときに、会う予定がないときは事前にコンタクトをとり、しんぶんを用意します。

二つ目の方法は、不特定多数のひとを対象にする方法。

買い物やイベントなどで偶然懐かしい人にバッタリ会うことってありますよね。その時に、もちろん場所や環境を考慮しますが（一番は自分の拡大したいと言う気持ちですが）話の流れの中で「こんなしんぶんあるけどどう？」と勧めます。そんなことを考えて、常にバックには宣紙を忍ばせておきます。

私自身がそうですが、何事でも勧められた内容云々の前に、勧めてくれた人がどうか？信頼できる人かどうか？で判断することが多いのが現実です。まずは、人として信頼されるに値する生活をしていることが大前提だと、自分に言い聞かせています。それと、一度断られても、へこまないで何でも話していく根性も大切かな？だって、いろんな方面の記事が載っていても多めにしんぶんですものね。一人でも多くの人に読んで欲しいと思っています。



＜はまべ班 竹花久子＞

コロナの影響が大きく活動もままなりません。市への要望懇談会や市民の会への出席などの活動が主になり、新婦人の会員に対する活動（学習会）ができていないのが現状です。

＜わかめ班 平賀由利子＞

私はホームヘルパーの仕事をしています。住み慣れた自宅で老後を迎えたい人たちの援助をしています。  
私が42歳になった時、介護保険制度が始まりました。これで老後は安泰だ！と思いました。（期待はしませんでした）  
私たちは老後のために40歳から介護保険料を払い続けます。65歳になると保険料がドバっと高くなり、少ない年金から容赦なく天引きされます。しかし、介護サービスを受けられる年齢（65歳）になっても、よほど認知症が進んでいるか、身体の自由が利かないかでないとい介護認定されません。認定は年々厳しくなっているようです。使いたいサービスが認定されなかったら受けられないなんて、何のために25年以上も保険料を払ってきたのか。制度が始まった当初はこんな保険ではなかったはず。もっと幅広く利用できたはず。さらに、現政権は国の負担割合をもっと少なくしようとしています。災害時まずは自助、次に共助、最後に公助などと言っている政治に老後を託す訳にはいきません。介護保険改悪反対の運動を社会保障部のなかで考えられたら良いと思います。

医療や介護など私たちの生活に身近な問題を担当している  
社会保障部を紹介します。

＜部長 かすみ草班 田中みよ子＞

社会保障部の活動は、私たちの生活に密着した活動です。これまで介護保険の学習会、介護についてのアンケート調査や施設訪問を行ってきました。今後、益々高齢化社会になっていきます。先日、新聞記事が目にとまりました。特養利用料が8月から4万円も負担増と書かれていました。それも国民が知らないうちに強行されたと言うことです。医療費の負担も増える中で安心して老後は送れません。社会保障部は4人で勧めています。これからも皆さんの声を聞いて、運動を広げていきたいと思います。

＜さくら班 池谷八千代＞

8月から特養ホーム利用者の低所得者への食費、住居費の補助基準が引き上げられ月4万円もの負担増になることが報道されました。来年の秋には75歳以上の高齢者医療費の1割負担を2割に引き上げることが閣議決定されています。今自民党は総裁選が行われていますが、それぞれの候補はこの社会保障改悪を是正するどころか、消費税引き上げの考えを示す候補もいる始末です。10月末に行われる衆議院選挙は何としても、国民の願いを実現させる政府をとる思いを強くしているところです。

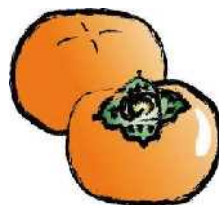
# 四季の簡単薬膳

あざれあ班 青野多恵子

新型コロナ感染がやっと下火になったら、「もう秋！」あと今年も3ヶ月です。これからは、燥邪（そうじゃ）＝乾燥、と寒邪（かんじゃ）＝寒さの2つの邪気が夏の暑さで弱った身体を襲って来ます。肺を潤し、咳を鎮め、心身共に冬に向けて備えていきましょう。秋ならではのデザートで夏の疲れを癒してください。

\* 柿のフラッベ (材料: 6人分) 効用: 潤肺止咳 化痰安神 清熱止渴

【材料】	【分量】
柿	2個
バター	10 g
はちみつ	10 g
プレーンヨーグルト	180 g
スライスアーモンド	10 g
白ワイン	15 cc



## 【作り方】

- ① 柿は12等分し皮種を取る。薄めのくし形が作りやすいです。
- ② フライパンにバターを熱し柿を入れバターを絡めたら白ワインを入れフラッベする。
- ③ 器に入れプレーンヨーグルトとはちみつを混ぜて上にかけてアーモンドを散らす。
  - \* フラッベ・・・火であおってアルコールを飛ばす。
  - \* アーモンドは炒った物を刻んでもOKです。



## しまの花だより

すみれ班 近藤しま

秋と言えばコスモスですね。私はイエローのレモンブライトが気に入っていますが、本番は秋桜（ピンク）ですね。ホトトギス、フジバカマ、もうヨメナも咲き始めました。ススキの花をごらんになったことはありますか？稲穂の出始めのの頃に似ていますが、もっと繊細な花が咲いています。朝日に輝くススキは年齢を重ねた私どもにはことさらに美しく見えます。

## これからの予定

- 10/14 (木) 産直部と農民連事務局長懇談
- 10/15 (金) 国保学習会 講師 小黒議員 民商 19:00
- 10/19 (火) 戦争をなくし平和な浜松をつくる会  
「航空自衛隊浜松基地と自衛隊に関する申し入れ書」提出 浜松市と懇談
- 10/21 (木) 母親運営委員会 19:30~ 新婦人事務所
- 10/23 (土) 学校ゆるカフェ第6回 10:00~  
高台協働センター 和室  
母親実行委員会 14:00~ 県居協働センター
- 10/24 (日) 仲間つくりポスティング行動 14:00~  
佐鳴台方面 集合 佐鳴台遠鉄ストアー

## 前進座創立90周年記念講演のお知らせ

監修=山田洋次 脚本=山田洋次・朱海青 演出=小野文隆

# 一万石の恋

一万石の殿様が  
長屋の娘に片思い?!  
生きるか死ぬかで大騒ぎ、  
老う門には福来たる!

チケット  
取り扱っています

2021年11月30日(火)  
静岡市民文化会館中ホール 14:00開演  
前売 5000円 当日5500円



## うまいもの会からのお知らせ

皆さんにご協力頂いた、おいしいと好評の「小豆島手延べそうめん」がまだ事務所に残っています。日持ちも良く、寒い日には煮そうめんなどでお召し上がりください。ぜひお買い上げにご協力ください。

小豆島手延べそうめん



そうめん 1.8kg 2000円